■追悼記事

岩崎博先生を偲んで

亀卦川卓美　（高エネルギー加速器研究機構）

平成４年度の日本放射光学会会長として，我が国の放射光研究の発展に貢献されてきた岩崎博高エネルギー加速器研究機構研名誉教授（以下，岩崎先生）が，平成27年２月24日に肺炎のため81年３ヶ月余りの生涯を閉じられました。ご子息によりますと，昨年の夏頃から健康を害されていたそうですが，２月18日に東京の自宅近くの病院に緊急入院されたものの，症状が悪化し24日に逝去されたとのことです。

先生は昭和８年島根県松江市のお生まれで，昭和31年に東京教育大学（現筑波大学）理学部物理学科を卒業後，東京工業大学大学院理工学研究科へ進学，昭和33年に博士課程途中で退学し，助手として東北大学金属材料研究所に入られました。その後講師，助教授を経て昭和50年に金属材料研究所教授になられましたが，昭和61年に高エネルギー物理学研究所（KEK，現高エネルギー加速器研究機構）の教授として移られ，放射光実験施設（PF，現物質構造科学研究所放射光研究施設）の測定器研究系主幹や施設長を務められ平成６年に定年退職されました。同年，立命館大学理工学部に移られ，私学では日本初となる小型放射光実験施設（SR センター）の立ち上げに尽力され，センター長として平成16年に退官されるまで，同施設の発展に努められました。立命館大学を退職されてからは東京のご自宅に戻られ，悠々自適の生活を過ごしながらも研究に対する意欲を失うことなく，旧知でもある筑波大学大嶋先生との共著論文も執筆されておりました。

KEK 在職中に本学会会長や日本結晶学会長（平成３年度）などの要職を歴任し，それぞれの分野の発展に尽くされました。先生の研究はＸ線回折による合金の長周期構造の研究から始まり，後に取り組んだ高圧力研究を含めて数多くの業績がありますが，振り返ってみると一貫して結晶の相転移とその測定法の開発にご興味を抱いていたものと推察されます。放射光による研究としては，当時世界に先駆けて PF に導入された放射光専用の大型高温高圧実験装置｛MAX-80｝を用いて，ビスマス高圧相の結晶構造解析を行ない15族半金属元素の相転移系列の全体像を明らかにしました。先生が KEK へ移られる直前に行っていた，硝酸ナトリウム単結晶試料による高温ダイヤモンドアンビルセルを用いた散漫散乱測定は，現在のレベルからしても非常に難易度の高い先駆的な研究でした。また放射光による異常散乱現象を利用した３次元合金の短範囲規則構造の解析手法の開発や，立命館大学時代には波長変調回折法という構造因子の位相決定に応用可能な新しい測定法の開発にも意欲的でした。先生はこのような卓越した研究者であると同時に，大変優れた教育者としても知られており，東北大学大学院でのＸ線結晶学の講義は大変分かりやすいと評判で，単位関係なしに受講する院生が多かったと聞いていました。格別忘れられない思い出は，私が博士課程に在学していた頃のエピソードです。昭和50年代の東北大学理学研究科の物理，特に物性に関係する分野では博士論文を取得することが最も難しい大学の一つとされており，先輩方の公聴会での質疑応答の様子をその晩の肴に院生同士が居酒屋で話しては，悪酔いでお開きになるというのが通例でした。自分の番を翌年に控えた公聴会は聞きに行けず，片平地区の院生仲間が集まった居酒屋で，思い掛けない話を聞くことになりました。ある院生の発表後の質疑応答が余りに研究内容から外れたものに集中し，度々発表者が答えに窮するような状況が続いたときに，岩崎先生がそのような枝葉末節にとらわれず，研究者として独り立ち出来る博士論文かどうかを審査すべきだと発言したというのです。それまで誰も口に出せなかった正論を言ってくれたという話題で，その晩は大いに盛り上がりました。流石に教育大学出身者は違うなどと軽口を叩いたものの，指導教官に対する誇りと尊敬の念がその宴会の記憶と共に刻み込まれ，今なお折に触れて思い出されます。東北大学や立命館大学での研究室だけでなく，KEK に設置された

写真１

(C) 2015 The Japanese Society for Synchrotron Radiation Research

ばかりの総合研究大学院大学でも，主幹や施設長の仕事を務めながら熱心に大学院生の指導にもあたっておられました。中国からの留学生だった陳君（Jiuhua Chen：現フロリダ国際大学教授）との研究打合せは，英語と日本語と先生の特徴的な漢字を駆使しての一種珍妙な会話が多かったのですが，それも楽しい思い出になりました。また退職後には筑波大学の大嶋研のセミナーにも東京のご自宅から足を運ばれ，若い研究者にも熱心に助言を行っていたそうです。最後まで研究者であり教育者だった先生のご冥福をお祈りしたいと思います。

写真 2

去る 6 月10日，故岩崎博名誉教授が叙位（正四位），叙勲（瑞宝中綬章）を授与され，KEK つくばキャンパスにおいてご遺族への伝達式が執り行われました。写真左手前からテーブルを囲んで岩崎浩子様，一人おいて山田和芳物構研所長，野村昌治 KEK 理事，村上洋一 PF 施設長（**写真 2**）

また 7 月 4 日には，東北大学，KEK，立命館大学，筑波大学各時代の同僚・研究室の学生や秘書の方々ら30名程が東京文京区の茗渓会館に集い，故岩崎先生のご家族を交えた「岩崎先生を偲ぶ会」が催されました。写真前列中央がご遺族の岩崎浩子様とご子息とご息女（**写真 3**）

写真 3